

来たれ!三重大学へ!

特集

私はこうして三重大学へ入学した ～現役三重大学生へ聞く、過去・現在・未来～



三重大学では7,000人を越える学生が学んでいます。彼らはどのようなきっかけで現在の分野を志し、三重大学への進学を目指したのでしょうか。

人文学部



身近な話題を研究したい!

法律経済学科 3年 八木 菜文

環境・情報科学館前のベンチはお昼ご飯スポットに最適ですよ!

きっかけ

高校生の頃、受験が迫るにつれ、自分が本当にやりたいことを見失ってしまいました。自分が興味のあることは何だろう。そう考えたとき、頭に浮かんだのは大好きなテレビのニュース番組でした。ニュース番組では連日事件や経済の動向が報道されていますが、私たちはテレビを通して報道される表層的な部分しか知りません。もっと根本的な部分である、法律や経済について学びたいと思うようになりました。普通の大学は入学する前にどちらを専門に学ぶかを決めなければならないのですが、三重大学人文学部は入学後、自分の興味に合わせて専門分野を決定できます。この選択肢の広さに魅力を感じ、入学を決意しました。

入学してみても

入学後は法律系の研究室(刑罰ゼミ)を選択しました。ゼミ活動では「何が正確なのか」を常に意識しています。公な統計データの数値ひとつをとっても、その数値が何を示しているのか、どのような統計処理を経た数値なのか等を判断し、うのみにしないよう目を光らせています。

研究テーマ

同年代の学生による性犯罪の報道をテレビでよく目にするうち、詳しく研究してみようと思い、卒業論文のテーマに選びました。研究を進めるうち、被害者の支援や加害者の更生に関するサポートが十分ではないと考えるようになりました。24時間対応が可能な、相談所・病院・警察等、機関同士の枠組みを越えた連携が必要なのではないかと考えています。

★三重大学を目指す皆さんへ!

高校生でしかできないことを沢山してください。進路に迷ったときは、実際に大学へ行ってみましょう!自宅と高校の往復だけではなく、その先を意識した高校生活を!

教育学部



三重県の子どもたちを元気に育てる!

学校教育教員養成課程保健体育コース 2年 倉田 明孝

陸上部です!グラウンドで走ったり跳んだりしています!

きっかけ

小中高と学校生活を過ごす中で、先生から学ぶことが沢山ありました。かつて私が感じた「学校ってすごい!」「運動って楽しい!」という思いを、子どもたちにも感じて欲しいと思うようになりました。子どもたちの成長のきっかけになる体育の先生になり、地元三重県に貢献したいと思い三重大学へ入学しました。

入学してみても

自分がこれまで当たり前のように受けてきた教育が正解ではないと知り、衝撃を受けました。「学校とはこうあるべき」「体育とはこうあるべき」という固定概念を崩すことで、新たな発見や進歩が生まれるのではないかと、思います。教育学部で学ぶにつれ、教育に対する自分の価値観が大きく変わっていきました。

研究テーマ

体育における教師の役割は「運動を楽しめる環境をつくること」だと思います。運動が嫌いな子どもにも運動を強制しても、苦痛でしかありません。汗を流すために運動をするのではなく、運動を楽しんでいたら、自然と汗を流していた!という授業が理想だと思います。そして、今日の体育の授業は楽しかったな、と思ってほしいですね。跳び箱を飛んだ、シュートがきまった、マラソンを走ってきた等、運動でしか味わえない喜びを体育の授業で味わい、成長してほしいと思います。具体的にどんな授業がいいか、まだわかりません。毎日、理想の体育を模索しています。

★三重大学を目指す皆さんへ!

大学は夢や希望に溢れています!それを良くするも悪くするも自分次第。何が正しいかは、すぐにはわからないと思います。けれど自分が動けば何かが変わることは確かです。自分で決めたことに向かって、精一杯努力しよう!

医学部

医学科



研究者を目指して医学部へ!

医学科 4年 松井 健汰

よく大学の図書館で勉強しています。蔵書も豊富!

きっかけ

小さな頃から理科が好きで、将来は科学者になりたいと思っていました。中学生の頃に科学者の伝記を読んでいたとき、どの伝記を読んでも「若い頃はお金が無くて苦労した」と書いてあるのを見て、医学者になれば生活に困らない賃金を得ながら学問に集中できるのではないかと考え、医学部を目指しました。

入学してみても

実家が三重県だから、という理由で三重大学に入学しましたが、入学後に三重大学ならではの魅力を感じることができました。三重大学の1番の魅力は、1つのキャンパスに医学部を含む全ての学部が集まっていることだと思います。医師は将来、病気はもちろん考え方や文化や宗教観等、様々な背景の患者さんと向き合います。学生時代から様々な人と交流することは、医師の素質を涵養する上で重要だと考えています。

将来は

医学者、特に病理学者を目指しています。入学当初、周囲は医師になるために医学部に進学した人ばかりで、自分のように研究者になるために医学部へ進学した人は少なく、「自分はこれでいいのか」と悩むこともありましたが、そんなとき、授業で病理学のことを学びました。病理学には、病気の原因を科学的な手法で突き止め治療法を確立する基礎研究の面と、医師と協力して患者さんの治療の方針を考える臨床の面の2つがあります。これなら研究もでき、同時に患者さんの役に立てると確信しました。

★三重大学を目指す皆さんへ!

幅広い教養を身につけてほしいと思います。受験科目以外の教科をいかにろにしているか、大学に入学した後、「学問をしている」という感覚が希薄になってしまわないように。医療はアートとサイエンスのあわせ技だと考えています。ボランティアをしたり、友達と旅行に行ったり、美味しいものを食べたり、美しいものを見たり、充実した高校生活を過ごしてください。

医学部

看護学科



お母さんに寄り添う助産師を目指して!

看護学科 3年

歌うことが好き!アカペラサークル「Pioneer」は食堂前で歌っています!

きっかけ

赤ちゃんが生まれる瞬間はお母さんも医師も、その場の全員が笑顔になります。出産特集のテレビ番組を見たとき、自分もそんな素晴らしい場所で働きたいと思いました。医師不足や中絶等、難しい問題もあることを追って知りましたが、自分が助産師になることでこれらの問題を少しでも減らしたいと思うようになり、三重大学への進学を決めました。

入学してみても

三重大学の最大の魅力は、全ての学部が1つのキャンパスに立地していることだと思います。学部共通の授業やサークル活動で得た、様々な価値観を持つ友人と接することで、自分の視野が広がったと思います。

現在は看護師の資格取得のための実習をしています。実習に協力していただく患者さんを診察し、カルテを見て、現在の健康状態を良いものにするための援助を先生と検討します。まだ知識不足で大変なこともあります。夢の実現に向けて充実した毎日を送っています。

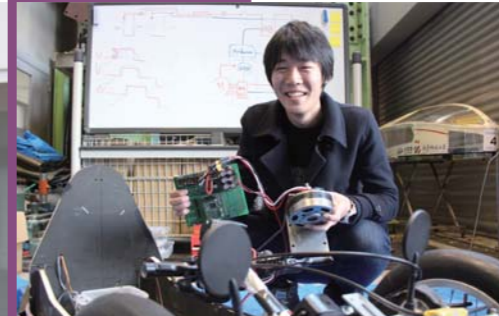
将来は

特にお母さんを支えることができる助産師になりたいと考えています。お産が上手くて、お母さんが「子どもを産んでよかったな」と思うことができれば、その後の育児にもよい影響を与えられると思います。技術面に加え、お母さんを精神面で支え、出産後もずっと幸せになれるような助産師を目指しています。

★三重大学を目指す皆さんへ!

三重大学では沢山の人と関わることで自分の幅が広がりますよ!楽しむときは楽しむ、集中するときは集中する。メリハリをつけて頑張ることが、受験勉強にも、大学生活を楽しむためにも役立つと思います!

工学部



“ものづくり”っておもしろい!

電気電子工学科 3年 伊坂 脩

より速く、よりエコな電気自動車を作っています!

きっかけ

高校の授業がきっかけでプログラミングが好きになりました。進路を考えるにあたり、情報系に進むか、モーター・ロボット系に進むか悩みました。そこで、両方を学ぶことができる三重大学工学部の電気電子工学科に進学しました。

入学してみても

工学部の講義は実験が多くて楽しい!専門書を読んで勉強したときには理解できなかったことを、実際に自分の手で実験して理解できたときが気持ちいいですね。

キャンパスの特徴としては、風力発電用の大きな風車が目を引きま。木がたくさん生えていて、落ち着いた雰囲気なのもいいですね。大学の図書館は専門書が豊富で、夜遅くまで開いているので自主勉強にオススメの場所です。

サークル活動

電気自動車研究会に所属しています。私たちは南台科技大学(台湾)と合同チームを組み、単三電池40本のみで動く電気自動車を製作し、年1回開催される「Ene-1 GP SUZUKA」(鈴鹿サーキット)へ出場しています。今年はより空気抵抗の少ないボディを設計し、モーターの効率を改良し、優勝を狙います!

このサークル活動を通し、ものづくりの面白さに目覚めました。自動車やロボットなどを自分で設計し、大きな機械を動かしてみたいという思いが強くなってきました。

★三重大学を目指す皆さんへ!

何事にも全力を尽くそう。全力を尽くせば、どんな結果になっても後悔しない。よい結果も悪い結果も受け入れて、前向きに頑張ろう!

生物資源学部



海洋生物の専門家になる!

生物圏生命工学科 2年 藤島 陽平

生物資源学部の1階には勢水丸のイカリがあります!

きっかけ

子どもの頃から海の生き物が大好きです。大学では海の生物多様性について研究したいと考え、地元富山県から三重大学生物資源学部に進学しました。生物資源学部は海の上で実験を行うことができる練習船「勢水丸」、志摩市の水産実験所をはじめとする、充実した研究設備が魅力です。

研究テーマ

「変な生き物」に興味があります。海には膨大な種類の生き物が生息していますが、中でも深海や海底火山の近く等の極限の環境には、常識では考えられないような風貌、変わった機能を持った生物が生息しています。そんな、謎の多い生き物の生態を明らかにしてみたいです。

生物を特徴ごとに分類し、進化・分化の系譜をまとめる学問を分類学といいます。一見地味に思えますが、生物多様性を理解するには無くてはならない存在で、とても興味があります。他には海中の生態系を根底から支える植物プランクトンについても詳しくなりたいと考えていて、研究したいことが山ほどあります!

サークル活動

ダイビングサークルに所属しています。海に近い、三重大学ならではのサークルだと思います。昨年の夏休みに紀北町と協力し、ガンガゼ(ウニの仲間)駆除のボランティアを実施しました。ガンガゼは周りの海藻を食べつくしてしまい、海底を砂漠のように変えてしまいます。海藻が無くなると光合成による酸素供給がストップするので、海中の生態系に大きな影響を与えてしまいます。生態系の問題を実際に目で見て体験でき、よい経験になりました。

★三重大学を目指す皆さんへ!

大学は、学問を通して自分自身の感性を磨き、様々な見方で考える力を養い、社会人としての姿勢を学べる本当に素敵な場所です。今、高校で学んでいることは大学生活で必ず生きてくるので精一杯頑張ってください。